

枚中だより

東大阪市立枚岡中学校
No. 5 平成30年8月29日発行

全国学力・学習状況調査の結果より

校長 田中裕章

夏休みが終わり、校内にたくさんの元気な声が戻ってきました。

今月1日の朝刊には、4月17日（火）に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果と分析が掲載されていました。中学校では3年生を対象に、今年度は国語（A・B）、数学（A・B）（Aは知識・Bは活用）、理科の3教科5科目と生活習慣や学習環境に関する調査アンケートが実施されました。

調査結果（個票）は後日、各生徒へ配布します。

新聞では、都道府県別の平均正答率などの一覧表を載せ、社会面では「下位の都道府県の底上げが進み、上位との差が縮まった」と報じられていました。また各紙、特別紙面で国語については「主語を捉える力が不足」、数学については「比例定数の理解が改善された」理科については「基本は定着しているが、情報の読み取りが苦手」「実験の考察に課題」などと分析結果と傾向を報じていました。

本校の調査結果の分析

国語

総合力では、知識・活用ともにほぼ府平均ですが、問題によって全国の平均正答率を大きく上回るものとその逆のものがありました。漢字の問題でも「舞台のマクが上がる」などはよくできていたのに対し、「紙をひもでタバねる」「先制点をユルす」などはあまりできていませんでした。また、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う問題でも「彼はせきを切ったように話し始めた」などはよくできていましたが、「意見の折り合いをつける」などは大きく下回ってしまいました。

枚中生がよくできていたのは、「古典の文章と現代語訳を対応させて内容を捉える」問題や「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む」問題などで、できていなかったのは「行書の基礎的な書き方を理解して書く」問題や「全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す」問題などでした。文章を丁寧に読み、内容を正しくつかみ取り、自分の考えをまとめる表現力をつけることが必要と思われます。



問題形式では、選択式や短答式の問題では、無回答率は全国平均以下であるのに、記述式になると全国平均を上回ってしまいました。

今後も、授業では、自分の考えをまとめ、表現し、発表するトレーニングを継続し、表現力を向上させるよう指導していきます。あわせて漢字や慣用句などの基礎的な練習なども工夫して取り組み、国語の学力向上につなげていきます。

数学

知識・活用ともに府の平均に達することができていません。枚中生がよくできていたのは、「確率の問題で情報を分類整理し、事象の起こりやすさの傾向を捉える」問題などで、課題があったのは、「指数を含む正負の数の計算」「不等式の表現」「線対称・点对称」「一次関数の変域に対応する値域」などの問題です。基礎的な問題のドリル練習や数学的な表現に慣れ、問題の数をこなす必要があります。

生徒質問紙の結果からみても数学全般への苦手意識をもっている生徒の割合も多く、問題が少し複雑になるだけで簡単にあきらめてしまう傾向があるように思われます。数学は問題を自分で解いた時の達成感で一気に理解が進むことが多いものです。いろいろな問題にチャレンジする意欲を培っていく必要があります。また、「数学の勉強は大切だと思うか」という質問に対して肯定的な回答の割合が低いことも課題です。

今後も授業では基礎学力の定着のために、反復練習を継続し、問題の演習量を増やしながら、理解が進むような工夫を凝らして、授業を展開していきます。

理科

総合的には府平均に達していますが生物的領域が苦手であるようです。枚中生がよくできていたのは、「太平洋高気圧に関する問題」や「発熱反応に関する問題」で発熱反応については記述式の問題も高い正答率をあげています。課題があったのは「実験の条件から推測させる問題」や「ガスバーナーの使用法」などです。図に示された実験・観察の装置などからそのようすをイメージして結果を推測することなどが苦手なようです。

生徒質問紙の中で「理科の勉強が好きですか」「理科の勉強が大切だと思うか」「理科の授業はよくわかるか」などといった質問には全国平均とほぼ同じ割合の回答をしていますが、「将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思うか」という質問に対し、肯定的な回答をした枚中生の割合は、全国平均よりかなり少ない結果となっている点が気になります。

理科は、それぞれの事象を日常生活と密着したものと考え、生活と関連付けて、学習に取り組むことで興味もわいてくるものです。知的好奇心をもって、家庭や学校での生活を送り、自然科学に対する知識が増えるように心がけてほしいと思います。

また、授業では、実験・観察も多く取り入れていきたいと考えています。

生活習慣・学習環境

生徒質問紙59問の中で府や全国に比べて特徴的であったものをいくつか紹介します。

「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」「家で、学校の宿題をしていますか」「家で、予習や復習をするときに教科書を使って学習していますか」などの「家で」の学習に関する質問に対して「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした生徒の割合は、全国平均に比べていずれも低くなっています。以前より、枚中生の課題は「家庭学習」とお伝えし、対策もしてまいりましたが、残念ながら今のところ顕著に改善されてきている結果には結びついていないようです。

ただ、「学校の授業以外に（学習塾に通う時間も含めて）どれくらい勉強しますか」の質問には、「2時間以上」と回答した生徒も「3時間以上」と回答した生徒の割合も全国平均より多くなっている結果があります。しかしながら一方で、「全くしない」と答えた生徒の割合も全国平均より多くなっている結果もあります。

このことから、学習に対して取り組みや意識が二極化してきている傾向がうかがえます。

「放課後や週末に何をしていますか」という質問に対して「家で勉強や読書をしている」と答えた生徒の割合が少なく、「習い事をしている」「家族と過ごしている。」「友達と遊んでいる」と答えた生徒の割合が多くなっている傾向もあります。

また、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という質問には、肯定的回答をした生徒の割合が全国平均や特に府の平均に比べ特に多い割合になっています。これは、地域の自治会や青年団などの活動がしっかり組織されている枚中校区の特徴的な結果であると言えます。

「新聞を読んでいますか」という質問に関して、「毎日読んでいる」生徒の割合は全国平均より高いですが、「全く読まない」と回答した生徒の割合も全国平均を大きく上回っています。このことについても枚中生の二極化の傾向がうかがえます。

本校では、学力向上の取り組みとして、一昨年より「家庭学習ノート」の取り組みを始め、内容の優れているものを紹介したり、表彰したりしています。また、自習プリントとして「学習プリント」を職員室前の廊下にレターケースに入れて準備して、自由に使用できるようにしています。現在、利用している生徒も多いですが、今後さらに整備・充実させていく予定です。

授業での取り組みは、限られた時間ですので、充分ではありません。取り組みの不足分は家庭での自学自習力を高めることで補っていかうと、取り組んでいます。

『家庭学習の手引き』なども参考にしながら、自主的・計画的な家庭学習を習慣づけてほしいと願っています。



ご家庭でも、家庭学習のできる環境を整えるなど、支援をお願いします。

枚中トピックス : 頑張っています、枚中生

- 水泳部 <大阪中学校水泳競技大会> 7月24日
 女子400m自由形 第7位 4' 35" 11
- バレーボール <大阪中学生バレーボール> 7月25日
 優秀選手
 優秀選手
- 水泳部 <中河内大会> 7月27日
 女子200m個人メドレー 第1位 2' 34" 32
 女子400m自由形 第1位 4' 37" 50
 女子400m自由形 第2位 4' 49" 08
 <中河内学年別大会> 8月20日
 3年女子400m自由形 第1位 4' 33" 99
 3年女子200m個人メドレー 第1位 2' 28" 92
- 卓球部 <東大阪市中学校卓球ガバナーズ選考会> 8月18日
 1年女子の部 第2位
- 陸上競技部 <第45回全国中学校陸上競技選手権大会> 8月21日
 女子砲丸投 12m66
 <中河内秋季大会> 8月23日
 女子 総合 第2位 枚岡中学校 33点
 男子 総合 第3位 枚岡中学校 51点
 1年男子1500m 第2位 5' 08" 69
 2年男子3000m 第3位 10' 34" 63
 3年男子100m 第3位 11" 73(+3.0m/s)
 1年男子砲丸投 4.00kg 第3位 6m48
 2年男子200m 第3位 25" 30(+0.2m/s)
 1年男子走幅跳 第2位 4m44(-0.7m/s)
 2年男子800m 第2位 2' 14" 13
 1年女子100m 第2位 14" 44(-0.6m/s)
 2年女子円盤投 1.000kg 第2位 17m60
 1年女子走高跳 第1位 1m35
 2年女子100mJH 第2位 17" 47(-2.6m/s)
 2年女子砲丸投 2.72kg 第1位 11m61
 1年男子4×100mリレー 第3位 52" 79